

やまぐちっ子学力向上だより

第 6 9 号 H27.12.11
山口県教育庁義務教育課

学力向上に向けた効果的な取組の紹介

義務教育課指導班では、各市町教育委員会と連携して学校訪問を実施しています。この訪問では、学力向上の取組についてお話を伺ったり、進捗状況を確認させていただいたりしています。これまで訪問させていただいた学校など、県内の学校のアイデア溢れる取組を、学力向上に向けた四つの重点取組事項の各視点からシリーズで紹介します。

特集1 学校の組織的な取組

全教員が一つのチームとなり、学力向上に取り組んでいる学校は、着実に成果を上げています。そのような学校には、次のような共通点が見られます。

1 学級、学年、教科の枠を超えた校内研修体制の確立

① 子どもの課題と付けたい力の共有

学力向上をめざし、組織的な取組を確実に推進している学校に共通しているのは、以下の3つのポイントを大切に、まず、子どもの課題を客観的に把握し、全教員が付けたい力を共有しているところです。

課題の把握

第1に、全国学力・学習状況調査や学力定着状況確認問題等を全教員で、実施後早期に採点をしています。採点しながら、子どもの状況を情報交換したり、気づきをホワイトボードや付箋に書き出したりすることで、効率的に課題を洗い出すことができます。

課題の精選

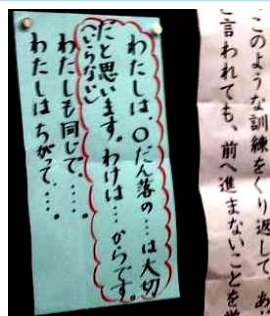
第2に、各教科で把握したいくつかの課題の中から、特に改善に力を入れるものはどれかを協議し、絞り込んでいます。この過程によって、全教員が課題解決の必要性を実感し、しっかりと共有できています。

付けたい力の焦点化

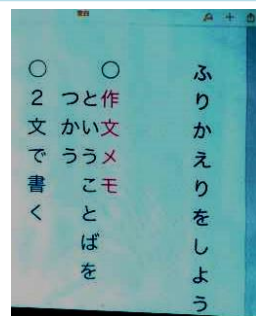
第3に、子どもに付けたい力を、「説明する力」「条件に合わせ記述する力」「豊かな表現力」など、分かりやすい言葉で焦点化しています。そうすることで、全教員が日常的に意識しながら授業改善を進めることができます。

② 全教科等で取り組める指導方法の研究

課題解決に向け、「課題設定の工夫をする」「振り返りで条件を与えて記述させる」「ホワイトボードを使って子どもの考えを視覚化・整理する」など、どの教科等においても、日々の授業の中で指導方法の研究に取り組むとともに、全校体制での研究授業や互見授業等において、提案・協議し、指導方法の工夫改善に努めています。



【小3国語「読むこと」の条件例】
要約した文章を見直し、語句や文の必要性について考えを書かせるため、書き出し等を限定しています。



【小2国語「書くこと」の条件例】
お話づくりに使った作文メモのよさや効果を端的に書かせるため、キーワードと文の数を限定しています。

2 研修を主導するミドルリーダーの存在

① 年間計画の立案と各取組の主体的な運営

光市立浅江小学校では、学力向上のリーダーとなる教員が、年5回の検証を核とした取組の年間計画を示し、全教員が見通しをもって取り組んでいます。

先日の校内研修では、複数のミドルリーダーが中心となって会を運営しながら、学力定着状況確認問題における各学年の結果・分析をワールドカフェ方式で交流することにより、学年部での徹底事項を具体化（いつ・何を・どのように実践・どのように評価等）し、今後の取組の方向性を明確にしました。

4 ワールドカフェの手順

- ①自学年で説明する人（移動なし）を1名決めておく。
- ②1名以外の学年部は、まとめて次学年に順番に移動する。
1年→2年→3年→4年→5年→6年→1年
- ③ひとつのテーブルで10分話し合う。
学年の説明5分間 → 質問・意見交流5分間
- ④全学年移動した後、各学年部で考察に加筆・修正を行う。
- ⑤学年の発表



* 10分×5 50分
* 1分×6 6分

5 グループ

- 1年: 教諭 養護教諭 栄養教諭
- 2年: 教諭 教諭 主査
- 3年: 教諭 教諭 主任
- 4年: 教頭 教諭 養護教諭
- 5年: 校長 教諭 教諭（浅江中）
- 6年: 教諭 教頭 教諭（浅江中）

- 特別支援学級担任や養護教諭、栄養教諭、事務職員等も各学年のグループに入っています。
- 接続する浅江中学校の教員も参加し、中学校の立場から気づきを述べています。

子どもの学力向上を目指した浅江小学校の取組
～年5回の検証と改善サイクル～

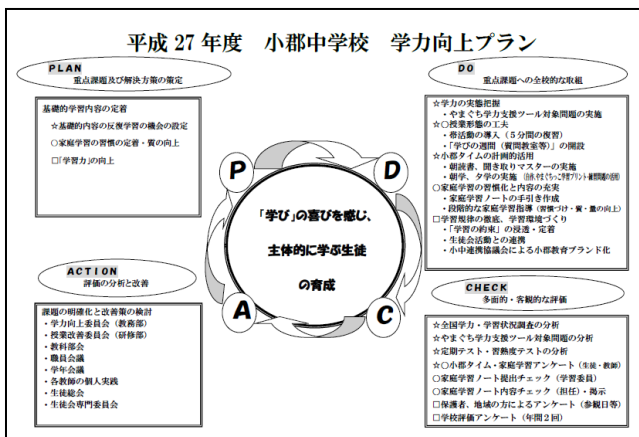
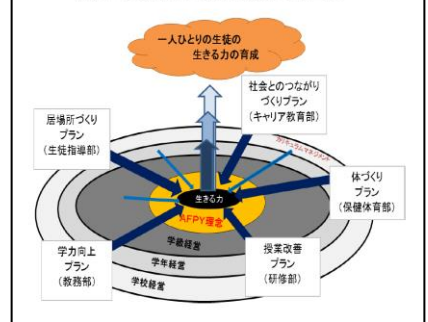
時期	学校	市教委
4月	・教育課程編成の工夫 ・組織的な取組の推進	・本年度の学力向上プランの確認（許年度参照） ・過去問の実施
4月21日	算数診断テストの実施と結果作成	全国学力・学習状況調査の実施
5月	「やまぐち学習支援P」の活用	「やまぐち学習支援プログラム「確拠問題」の実施（小3～5）
6月	校内研修に位置付け全校体制で採点 解答状況の把握・分析、成果と課題の共有（随学年ヒアリングの実施） 今年度学力向上プランの作成・実施後、早期の検証・改善 学力分析支援ツールによる学力状況の確認【5月29日まで】	
7月	課題解決に向けた組織的な取組の推進	
8月	②「やまぐち学習支援P」 1学期末評価進捗への取組、結果入力による分析 学力向上プランの修正	市教委によるヒアリング（市教委にて） ・各学校の児童生徒の学力状況把握 ・課題解決に向けた組織的な取組の把握・支援
9月	③第1回「学力向上」担当者会議	国からの結果公表 全国の結果との比較による市内児童生徒の学力状況把握
10月	④組織的な取組の推進	Webページに市内児童生徒の状況を掲載
10月28日	学力定着状況確認問題の実施（小3～6）	
11月	校内研修に位置付け全校体制で採点 解答状況の把握・分析、成果と課題の共有（随学年ヒアリングの実施） 学力向上プランの修正・実施後、早期の検証・改善 学力分析支援ツールによる定着状況の確認【11月13日まで】	
12月	⑤「やまぐち学習支援P」 2学期末評価進捗への取組、結果入力による分析	算数診断テスト2回目の実施と結果作成
1月	②市教委によるヒアリング（学校訪問） ・各学校の児童生徒の学力状況把握 ・課題解決に向けた組織的な取組の把握・支援	第2回「学力向上」担当者会議
2月	③個人懇談での説明会の実施	
3月	④「やまぐち学習支援P」 3学期末評価進捗への取組、結果入力による分析 次年度に向けた学力向上プランの修正	課題問題の結果等を踏まえた、年度末・来年度に向けた取組の推進 本年度のまとめ 次年度の学力向上プランの策定



② 各プロジェクトによる具体的なプランの立案と推進

山口市立小郡中学校は、校区内にある小郡小学校、上郷小学校、小郡南小学校とともに、「小郡教育ブランド化プロジェクト」を掲げ、「4校そろって一層信頼される学校へ！」を合い言葉に教育活動に取り組んでいます。その中で、小郡中学校では、「小郡中学校『生きる力』育成プロジェクト」を掲げており、5つの部会で具体的なプランを構想し、取組を推進しています。

小郡中学校「生きる力」育成プロジェクト



学力向上については、教務主任と学力向上係を中心に、授業改善については研修主任と授業改善係を中心に取組を進めています。

学力向上係が提案した学力向上プランは、PDCAサイクルに沿って、全教員で何を行っていくかが具体化・可視化されており、取組の指針となっています。

*浅江小学校の年間計画と小郡中学校の学力向上プランを添付しますので、参考にしてください。